

## 第6学年1組 総合的な学習の時間学びプラン

単元名 「城内万博2025」(マイテーマ学習)

指導者 野々上 遼

### 子どもの実態から

本学級の子ども達は、これまでに、各教科等の学習で、与えられた課題に対して、自らチャレンジ目標を設定し、自己に合った学習方法で学び取ることができるようになってきている。しかし、子ども達自身から湧き上がってくる疑問、関心、必要感に基づいて、課題を見出す力は不十分である。また、近年の社会情勢も重なり、子どもと地域社会との関係が希薄になっており、自己と社会とのつながりを実感する経験も未熟である。そこで、子どもが身近な興味・関心を基に立てた学習課題を、地域の多様な他者との関わりを通して解決していくマイテーマ学習に取り組むことは、学びに向かう主体性を醸成したり、地域社会の一員であることを実感したりする点で意義深い。

### 教材の価値

「城内万博 2025」は、本校の重点目標である「自分を学校を地域をよりよくする子ども」を基に、一人一人が個別の学習課題(マイテーマ)を設定し、多様な方法で調べ、獲得した知識や事実からマイテーマの改善や発展へのアイデアを見出し、市民や専門家等へ提案することを目指すことで、主体的に学びに向かうことができるという価値がある。また、共通性のあるマイテーマの子ども達を集めてチームを作ることで、学びが孤立せず、多様な他者との協働的な学習を通して、自己の概念を形成・更新することができる。さらに、「城内万博2025」という発表する場を設けることで、より本気で、地域発展や自己成長へのアイデアとその効果が相手に伝わる表現物を作り上げる必然性が生まれる。また、本やインターネットでの調べ学習に留まらず、GTへのインタビューや見学、制作、実験・観察等の体験的な活動を旺盛に行っていくことができる。本単元を通して、子ども達が自らの興味関心を入口に身近な事象に向き合い、それらのよさや発展を考える過程で郷土愛を高めたり、自己の課題を改善しようとする過程で自己成長を実感したりすることができるという価値もある。

本単元での学びは、各学年各教科領域において、子どもが自ら問いを見出し、主体的に自己調整しながら学習に取り組む姿につながるものである。

### 単元の仕組み方の工夫

**セットアップ段階**では、自己の興味関心に応じて本やインターネットで調べたり、地域の課題をGTに話してもらったりする機会を設定することで、一人一人が進んで解決したいマイテーマを決める場を仕組む。また、多様な情報を協働的に収集・整理できるように、分かったことをチームごとにイメージマップで共有する場を仕組む。

**アクション段階**では、主体的に学習に取り組み、マイテーマに関する新たな知識や事実を獲得しながら、自己の概念を形成・更新できるように、探究的な学習方法を例示する。また、本やインターネットでの調べ学習に終始している子どもには、問いに沿ったGTや見学先を紹介することで、より体験的な活動を通して、テーマに関する多様な情報を収集できる場を仕組む。さらに、聞き手により説得力のある提案になるように、「アイデア」「実現性」「効果」「プレゼン方法」の4観点を提示し、付加・修正したり、表現方法を選択したりしながら、提案を作る場を仕組む。

**パワーアップ段階**では、「城内万博2025」を開催し、マイテーマに対する自分の考えを市民に提案する場を仕組む。また、自己の提案をより現実的な内容へと改善できるように、提案に対して、聞き手からフィードバックを直接受ける機会を設定する。最後に、マイテーマを通じて、自己の生き方や地域とのつながりを考え、本単元をまとめる場を仕組む。

各自の課題に応じた視点に着目して

### 単元の評価規準

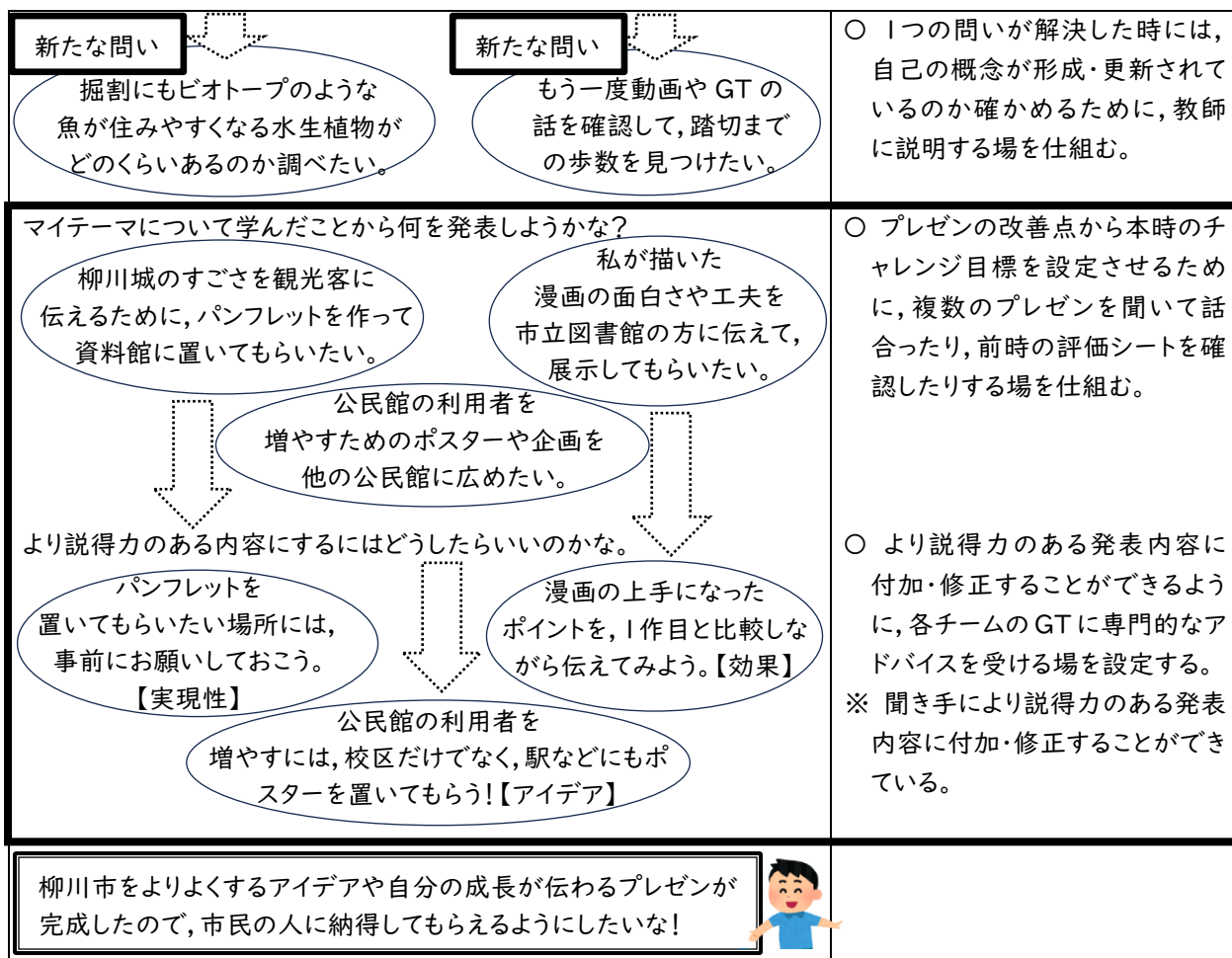
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
探究的な学習や多様な他者との関わりを通して、マイテーマの解決に必要な知識を身に付け、自己の概念を形成したり、身近な社会とのつながりを自覚したりするとともに、解決への情報を多面的に収集している。	多様な他者との関わりを通して、マイテーマの情報を収集し、多面的に整理・分析することで、自己の概念を形成・更新するとともに、聞き手により説得力のある内容に付加・修正したり、表現方法を選択したりして、表現している。	マイテーマの解決に向けて、多様な他者との関わりを通して、主体的に問題解決に取り組むとともに、学習の振り返りから次時のチャレンジ目標を立てることを繰り返しながら、粘り強く自己の概念を形成したり更新したりしようとしている。

## 単元プラン（全35時間）

セットアップ段階（13時間）	
ねらい	自己の興味関心への理解を深め、マイテーマを決めることができるとともに、同興味異学年チームで協働的に学習することを通して、マイテーマに関する多様な情報を収集し、整理することができる。
活動 〇配時	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇 マイテーマ学習に関する見通しとゴールを共有する。②</li> <li>〇 市役所職員等の GT から地域の諸問題について話を聞いたり、地域や学校の諸問題や自己の興味のある事象を調べたりして、解決したい課題を見つけ、マイテーマを設定する。④</li> <li>〇 マイテーマを基に、同興味の異学年チームを作り、チームテーマを設定する。①</li> <li>〇 本やインターネット、GTへのインタビューによる調べ学習を通して、マイテーマに関する事実や情報を集め、整理する。④</li> <li>〇 中間報告会を行い、これまでの学習を基に、分かったことや今後の見通しを発表する。②</li> </ul>
主な活動と予想される子どもの反応	〇場づくりと支援 ※評価
<p>自分の好きなことや調べたいことからマイテーマを決めよう。</p> <div> <div>陸上記録会に向けて記録を伸ばしたい！</div> <div>プログラミングで何か作りたい！</div> <div>生き物を捕まえて、特徴を調べたい！</div> </div> <p>→本やインターネットで調べたり、GTに話を聞いたりしてみよう。</p> <div> <div>公民館の利用者が減って困っている。（公民館長より）</div> <div>マイクラフトで、柳川の魅力を伝えてほしい。（市企画課より）</div> <div>高齢者が活躍できる社会にしたい。（市福祉課より）</div> </div> <div> <div>オーバーツーリズムによって、地域住民が暮らしにくくなっている。（市観光課より）</div> <div>城内小と柳川の偉人達との関係を知り、広めてほしい。（学校長より）</div> </div> <p>マイテーマを基に、同興味異学年チームを作り、チームテーマを決め、調べよう。</p> <div> <p>（例）堀割の魚チーム</p> <div> <div>堀割の魚の数を増やしたい！</div> <div>堀割の魚を守りたい！</div> <div>堀割の魚を観察して、生息環境を知りたい！</div> </div> </div> <p>マイテーマについて、本やインターネットで調べよう。</p> <div> <div>棲み処は？</div> <div>水草、泥、岩の下など</div> <div>在来種の棲みやすい環境とは？</div> <div>チームテーマ 堀割の魚を増やそう。</div> <div>堀割の魚は何種類？</div> <div>約40種</div> <div>外来種が在来種を減らした</div> <div>在来種と外来種</div> <div>増やすのは在来種</div> <div>ビオトープを作って観察したい！</div> </div> <p>学んできたことを整理し、分かったことや今後学びたいことを発表しよう。</p> <div> <p>堀割には40種類もの魚が生息しているが、外来種が原因で在来種が減っていることが分かった。これから在来種を増やすために、ビオトープを作って、どんな場所が棲みやすいのか調べたい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇 子どもの興味関心からマイテーマを引き出すことができるように、マイテーマを自分で決められない子どもとは個別で話し合ったり、GTから話を聞いたりする場を仕組む。</li> <li>〇 多様な他者との協働的な学習の場となるように、同興味の異学年集団のチームを決める場を仕組む。</li> <li>〇 より多様な情報を獲得できるように、チームでイメージマップを広げたり、それらを基に話し合ったりする場を仕組む。</li> </ul> <p>※ マイテーマに関して、本やインターネットで調べて分かったことをイメージマップに書いたり、関連付けて線で繋いだりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇 これまでの学習を整理し、今後の学習の見通しをもつことができるように、中間報告会の場を設定する。</li> </ul>



アクション段階（18時間）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 探究のサイクルを活用した学習や多様な他者との体験的な活動を通して、学びを自己調整するとともに、マイテーマに関する情報を収集し、多面的に整理分析して、自己の概念を形成・更新したり、社会とのつながりを自覚したりすることができる。</li> <li>○ マイテーマについて学んだことを生かし、聞き手により説得力のある内容に付加・修正したり、表現方法を選択したりして、まとめることができる。</li> </ul>
活動 ○配時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ マイテーマに関して夏休みまでに調べた成果やチームテーマを基に、マイテーマの解決に向けた問いを見出し、学習計画を立てる。②</li> <li>○ マイテーマの解決に向けて、本やインターネットに留まらず、GT へのインタビューや見学、実地調査、制作等の体験的な活動を通して、多様な情報を収集し、多面的に整理分析して、考えをまとめる。⑩</li> <li>○ 獲得した知識や考えを基に、自分たちの生活や地域とのつながりを意識して、より説得力（アイデア・実現性・効果）のある発表にまとめる。⑥4/6 本時</li> </ul>
主な活動と予想される子どもの反応	
<p>城内万博 2025 で、市民に伝えたいことは？</p> <p>公民館と協力して、城内リサイクルマーケットを開催し、地域のゴミを減らしたい。</p> <p>これからどうやってマイテーマを解決していこうかな？</p> <p>実際に記録を計測して、陸上のいい練習方法を見つけない。</p> <p>走り幅跳びの記録を伸ばすいい練習方法を紹介したい。</p> <p>ビオトープを作って、魚の住みやすい場所を見つけない。</p> <p>公民館の利用者を増やすために、ポスターを作ってみよう。</p> <p>柳川城について、観光客にも分かるパンフレットを作るために、古文書館で調べたい。</p> <p>漫画家に描き方を聞いて、実際に描いて、読んでもらおう。</p> <p>今日は、この問い（調べたい・できるようになりたい）について調べよう！</p> <p><b>問い</b> ビオトープを観察して、魚の棲み処を調べよう。</p> <p><b>問い</b> 走り幅跳びの踏切位置を安定させたい。</p> <p>自分で学習方法を選んで調べよう。</p> <p><b>集める</b> 魚は、植物の影や下に隠れていることが多いな。</p> <p><b>計画</b> 踏切板の上で踏切ができるようになろう。</p> <p>水生植物が2週間前よりも大きくなっているよ。</p> <p><b>テスト</b> 5本中3本成功した！</p> <p><b>組み立てる</b> 水生植物が大きくなることで、魚の棲み処が増えているよ。</p> <p><b>分析</b> 最後に減速して、歩幅を合わせている。</p> <p><b>まとめる</b> 水生植物が増えたら、魚が住んだり、卵を産んだりする場所が広がるので、魚の数が増える。</p> <p><b>練習</b> 前回よりも、踏切板を見ないで跳べた。最後まで全速力で走って踏切をしよう。</p>	
〇場づくりと支援 ※評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 聞き手に説得力のある発表内容について考えることができるように、話し合う場を設定する。</li> <li>【アイデア】…地域や自己の課題をよりよくするものか。</li> <li>【実現性】…自分たち（大人も含む）でできるものか。</li> <li>【効果】…地域や自分にどんな変化や成長が起こるのか。</li> <li>【プレゼン方法】…資料の見やすさや話し方はどうか。</li> <li>○ マイテーマ解決への見通しをもつことができるように、時数を伝えたり、計画シートを作成したりする場を設定する。</li> <li>○ 収集した情報を多面的に整理分析し、自己の概念を形成・更新させるために、探究的な学習方法を例示する。</li> <li>【学習方法①：とあくま法→調べる段階】 ①問いを立てる→②集める（多様な方法での情報収集）→③組み立てる（情報の関連・順序付け）→④まとめる→新たな問いへ</li> <li>【学習方法②：けてぶれ法→実践段階】 ①計画→②テスト（実行）→③分析（成果・課題や原因）→④練習（分析をもとに再度実践）→新たな問いへ</li> <li>○ 多様な情報を収集することができるよう、本やインターネットでの調べ学習に終始する子どもには、GT や見学場所等の案を提示する。</li> </ul>	



### パワーアップ段階（4時間）

ねらい	「城内万博 2025」で学び取った内容やそこから導き出した考えを聞き手に本気で伝える活動を通して、地域とのつながりや自己成長を実感し、今後の自己の生き方を考えることができる。	
活動 ○配時	<p>○ 「城内万博2025」を開催し、個々で学び取った成果を友達や地域の方、GT 等へ発表する。②</p> <p>○ 「城内万博2025」で聞き手からのフィードバックを基に、自己のプレゼンを付加・修正する。②</p>	
主な活動と予想される子どもの反応		○場づくりと支援 ※評価
<p>「城内万博2025」で、自分の考えを広めたい！</p> <div> <p>外国人観光客にも日本のルールが分かりやすい看板を設置すると、みんなが気持ちよく過ごせて、外国人観光客がもっと増えると思います。</p> <p>市の公園マップを作って、駅に置いてもらい、子ども連れの家族にもっと楽しんでもらえるようにしたいです。</p> <p>柳川市の公園は、車で行く方が便利だから、駅よりもお店や市役所に置いてもらうといいかもね。</p> </div> <p>「城内万博2025」で、新しいアイデアを覚えてもらえたよ！</p> <div> <p>マイテーマについて調べて発表することで、地域（学校・自分）をもっとよくしていくために、自分にもできることを見つけた！これからは、まずは自分で考え、友達に相談し、進んで行動していきたい。</p> </div>		<p>○ 子どもの発表意欲を向上させることができるように、市民へ自分の考えを提案する場を仕組む。</p> <p>○ 子ども達が自己の考えを再構築できるように、プレゼン後に聞き手からフィードバックを受ける場を仕組む。</p> <p>○ 自己の学習の深まりを自覚することができるように、振り返りシートを基に、自己の成長や今後の生き方について振り返る場を設定する。</p>




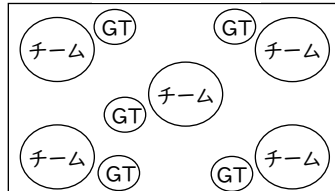








## 本時（29／35）体育館に於いて

### 本時めざす子どもの姿

前時に行ったプレゼンへの評価（アイデア・実現性・効果・プレゼン方法）に着目しながら、自分達のプレゼンの改善点を基にしたチャレンジ目標の達成に向かい、友達と話し合ったり、GT からアドバイスをを受けたりする活動を通して、聞き手により説得力のあるプレゼンになるように、内容を付加・修正することができる。

### 本時の学習過程

段階	主な活動と予想される子どもの反応	〇場づくりと支援 ※評価
導入	<b>1 チャレンジ目標を立てる</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 複数のプレゼンを聞き、改善点を出し合う。</li> </ul>  <p>声が小さくて聞きづらい。大切な所は少し大きな声で話してみるといいと思う。</p>  <p>Minecraft™で再現した柳川市を誰に見せたいのかが分からない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分のプレゼンへの他者の評価を基に、改善点を見つけ、本時のチャレンジ目標を立てる。</li> </ul>  <p>ポスターを掲示する以外に、利用者を増やす方法を考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ より説得力のあるプレゼンにするための改善点を考えることができるように、代表の子どものプレゼンを基に、話し合う場を仕組む。</li> <li>○ 前時のプレゼンに対する評価（子ども達とGT）を提示し、自分のプレゼンの改善点に気付く場を仕組む。</li> </ul> <p>【場づくり】</p> 
	<p>【チャレンジ目標の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の利用者を増やす方法をもう1つ考えて、聞く人を説得できる発表に改善しよう。</li> <li>・マイ柳川クラフトの魅力が伝わるプレゼンにして、市役所の人に発信してもらえるようにしよう。</li> <li>・練習前後の走っている動画を撮影して、相手に成長が分かりやすいプレゼンにしよう。</li> </ul>	
展開	<b>2 納得するまで繰り返し、もっと説得力のあるプレゼンにする方法を考える</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ チームや個人で、プレゼンを付加・修正する。</li> </ul> <p>【ICT チーム】</p>  <p>Minecraft™で再現した町並みをインターネットで公開することで、遠くの人にも魅力が伝わりそう。【アイデア】</p>  <p>でも、インターネットで公開するなら企画課に相談して、市のHPに載せてもらわないといけないよ。【実現性】</p> <p>【掘割の魚チーム】</p>  <p>掘割の在来種を増やすために、棲み処となる植物を増やすことを提案したい。【アイデア】</p>  <p>調査でまとめた棲み処になる植物リストを写真付きで示すのはどうかな。【プレゼン方法】</p>  <p>ピオトープの変化を写真で見せると、より分かりやすくなりそう。【効果】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ より説得力のある発表内容に付加・修正できるように、改善の4観点を確認したり、各チームのGTに専門的なアドバイスをを受けたりする場を仕組む。</li> </ul> <p>①【アイデア】…地域や自己の課題をよりよくする提案になっているか。</p> <p>②【実現性】…自分たち（大人も含む）でできるものになっているか。</p> <p>③【効果】…地域や自分にどんな成長や変化が起こるのか。</p> <p>④【プレゼン方法】…資料の見やすさや話し方はどうか。</p> <p>※ 聞き手により説得力のある発表内容に付加・修正することができるか確かめるために、教師への発表の機会を設定する。 【思・判・表】</p> <p>〔評価規準〕A:改善の4観点が全て付加・修正できている B:改善の4観点のうち3つが付加・修正できている C:改善の4観点のうち2つが付加・修正できている</p>
終末	<b>3 振り返る</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時のチャレンジ目標が達成できたか振り返る。</li> </ul>  <p>写真だけでなく、動画を使うことで、より分かりやすくなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 振り返りを基に、次時のチャレンジ目標を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己の学習の深まりを自覚することができるように、振り返りシートをもとに、学び方と学んだこと、次に生かしたいことの3観点で振り返り、チームで共有する場を仕組む。</li> </ul>

## ○チームと各児童のマイテーマー一覧

「チーム城内」(運動)	「おいでよ！城内のまち」(地域)
ボール投げのコツを調べ、実際に動いてたしかめよう	公民館の1年間の利用者を増やすために、これまでより見やすいチラシを作ろう
陸上競技の記録をのばす方法を見つけて、みんなに伝えよう	公民館の利用者を増やすために、チラシで柳川市の人に広めよう
ボール投げの練習メニューを作り、下級生に伝えよう	公民館行事や情報を発信して、公民館の利用者を増やそう
ボール投げの練習方法を調べ、記録をのばそう	「柳クラチーム」(ICT・地域①)
走り幅跳びの記録をよりよくする方法を見つけよう	柳川に住む人に、柳川の面白さを教えよう
ハードル走のコツや練習方法を調べ、記録をのばそう	マイクラフトで柳川のよさを伝え、人口の増加につなげよう
「Dream」(キャリア)	柳川を知らない人に、柳川のよさを届けよう
音楽関係の仕事について調べて、柳川市内の子どもに職業の多様性を知らせよう	「柳川クラフト」(ICT・地域②)
柳川の魅力を漫画で表現し、みんなに楽しんでもらおう	柳川のよさを、観光客に伝えよう
CAを目指して、外国語で柳川のみりよくをしようかいしよう	マイクラフトを通して、柳川のみりよくを柳川以外の人に伝えよう
「メイキング」(芸術)	マイクラフトで表現した柳川を外国人にしようかいして、観光客の増加につなげよう
イラストを描いて、柳川のみりよくを伝えよう	「魚ックス」(掘割)
アニメの作り方を調べてアニメを作り、多くの人を楽しませよう	掘割の魚をくわしく調べて、魚を増やす方法を見つけよう
柳川をテーマに曲を作って、たくさんの人に聴いてもらおう	掘割の魚を調べたり、ビオトープを作ったりして、掘割の魚を増やす方法を見つけよう
みんなの目を引くような構図で、柳川のみりよくを伝えるアニメを作ろう	掘割の魚の共通点から、魚を増やす方法を見つけよう
自分が作った曲でいつかみんなが笑えるようにしよう	「チームサイエンス」(理科)
柳川の魅力を伝えるアニメを作ろう	絶滅危惧種を守るために、私たちにできることを広めよう
元気になる曲を作り、どこかで流して、色々な人を元気づけよう	人の心理や感情について調べて、心理テストを作り、人の相談にのれるようになろう
「社会チーム」(地域の歴史)	柳川市に落ちているゴミを減らそう
柳川城の復元図を作って、歴史とみりよくを伝えよう	

## ○振り返りシート (例)

／	チャレンジ 目標	【今日はどんな学び方で何を学ぶか】 農業団体の方にインタビューをして、なぜ地域の清掃活動をしているのか理由や思いを調べよう。	／	チャレンジ 目標	【今日はどんな学び方で何を学ぶか】 校区の清掃活動をするために、計画を考えて、校長先生やほかの先生に相談しよう。
ふり 返 り	学び方 (+)	【よかった・がんばった】 自分が知ることができた、インタビューすることができた。質問することをもとめていたのに、たくさん質問ができた。	ふり 返 り	学び方 (+)	【よかった・がんばった】 自分で清掃活動の場所や時間を考えることができた。こまごまと先生に相談することができた。
	学んだこと (-)	【だめだった・もう少し】 インタビューのときに、相手の答えに質問をしたり、確認したりできるようにしたい。		学んだこと (-)	【だめだった・もう少し】 清掃活動の計画を立てるには、校區のごみについての情報がまだ足りていない。
次 に 向 け て (→)		【もっと知りたい】 自分たちの校區の清掃活動をするためには、どうすればよいのか考えたり、相談したりしたい。	次 に 向 け て (→)		【もっと知りたい】 校區のどこにごみがたくさん落ちているのか調べたい。地域のの人に呼びかける方法を考えたい。
		【次の時間はどんな学び方をしたいか、何を学びたいかなど】 校區の清掃活動をするために、自分で計画やよびかけの方法を考えて、市役所の生活環境課に相談する。			【次の時間はどんな学び方をしたいか、何を学びたいかなど】 清掃活動の計画を立てて、ポスターを作り、地域のの人に呼びかける方法を公民館や市役所の方に相談する。